

宇宙の響き - 中村天風の世界

ゲストスピーカー

作家・神渡良平氏

英語同時通訳付

日時

2006年12月9日

講演: 10:00-12:00

講演会費: \$10

懇親会 (昼食会):

12:30-2:30

懇親会費:

\$15・11月22日消印まで
\$25・11月22日以後・当日

場所:

East-West Center
Imin Center at Jefferson Hall
1777 East-West Road
ハワイ大学マノア校

駐車場:

\$3.00—UH upper campus.

UHのゲートでお支払いください

お問い合わせ:

電話: 457-1740 又は371-0218
info@honolulufoundation.org



写真: 天風会提供

中村天風 [1876-1968] 近代日本を代表する思想家の一人。日清、日露戦争で軍事探偵として活躍、数々の武功をあげたが、30歳にして結核にかかり生死の境をさまよう。治療法を求めて、米国コロンビア大学で医学を学び、ヨーロッパの著名な師を訪ねたが直らず。帰路、ヨガ行者カリアップパ師に出会い、ヒマラヤで修業し、病を克服する。帰国後、事業家となり、銀行頭取、会社重役の地位にあったが、大正8年、社会的地位、財産を全て放棄し、街頭にて説法を始める。「統一哲医学会」(後の「天風会」)を創設。「すべての現実とは心がつくる」と言い切り、心の鍛え方を具体的に示した天風哲学は、今日に至るまで、多くの政財界人の指針となっている。

神渡良平 1948年 鹿児島生まれ。九州大学医学部中退後、新聞記者、雑誌記者を経て独立。取材国は50数カ国に及ぶ。38歳のとき脳梗塞で倒れ一時は半身不随となったが、必死のリハビリで再起。この闘病生活中に、人生はたった一回しかないこと、またどんな人にもなすべき使命があってこの地上に送られていることを痛感する。闘病中に起草した「安岡正篤の世界」がベストセラーに。

著書に『安岡正篤の世界』『太平洋の架け橋 新渡戸稲造』『はだしの聖者』『宇宙の響き—中村天風の世界』『一隅を照らす人生』『マザー・テレサへの旅路』などがある。本講演では、天風の人生をヒマラヤの現地にまで辿った著者が、その体験を通して、天風の人生観、宇宙観について語る。



協賛:



申込書: 宇宙の響き - 中村天風の世界

小切手支払い先: Honolulu Foundation

申込書・小切手を下記へお送りください:

Honolulu Foundation
P. O. Box 283330
Honolulu, HI 96828

お名前

ご住所

参加人数:

講演会()

懇親会()

お電話

電子メール